



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

深浦小学校林業体験が行われました

令和6年6月19日、深浦小学校4年生16人に林業体験が十二湖で行われました。

始まりの挨拶の最中、夏鳥のアカショウビンのさえずりに小学生が気付き近くの樹に止まっていたので、観察しました。

挨拶にアカショウビンの飛び入り参加から始まった林業体験学習、二班に分かれて植物探しと丸太切り体験を行いました。

12種類の植物探しではツガルミセバヤとギンリョウソウ別名ユウレイタケが見つげらく散策ルート脇をあれやこれやと子供達同士話し合い探した結果、全て見つけて喜んでいました。

丸太切りでは、ノコギリを使ったことが無いと話す子供達もいましたが、みんなノコギリの使い方が上手く、次々と丸太を切り、予定より一巡多く切っていました。

切り落とした丸太はコースターより少し厚みがありました記念に喜んで持って行きました。全員ケガ等もなく無事終了出来ました。



植物探し中

第19回

白神山地と森林（もり）と人との共生活動に関する協議会を開催しました

7月18日（木）、西目屋村にある白神山地ビジターセンター会議室において、「第19回白神山地周辺の森林（もり）と人との共生活動に関する協議会」を開催しました。

本協議会は、白神山地周辺の保全管理や自然再生活動等について協議するため平成19年に設置し、委員は、学識経験者や地方公共団体関係者、ボランティア団体代表者等で構成されており、会議には委員10名、事務局7名の計17名が出席しました。

当日は、①当センターで行っている広葉樹侵入に関するモニタリング調査の経過報告と



協議会の様子

自然再生活動の昨年度の活動報告及び今年度の事業計画の報告、②委員各団体の活動報告及び今年度の事業計画の報告、③青森県（西北地域県民局）及び津軽森林管理署より松くい・ナラ枯れ被害状況とその対策について説明があり、それぞれ質疑応答が行われました。このなかで団体の会員の高齢化により単独での活動が難しくなっているという報告がいくつかの団体から報告され、座長からはボランティアによる自然再生活動の在り方を検討する時期に来ているのではないかという発言があり、今後検討していかなければならないと思っています。

最後に令和5年度白神山地周辺地域（青森県側）における中・大型哺乳類調査報告書から、ニホンジカやイノシシなどの生息状況について情報提供を行い、閉会しました。

今回いただいた御意見や情報を参考に、今後も自然再生活動を進めてまいりたいと思います。

第1回自然再生活動を実施しました

津軽白神森林生態系保全センターでは、平成21年3月に策定された「白神山地周辺地域自然再生計画書」に基づき、平成22年度より自然再生活動として一般参加者を対象にブナ等広葉樹の苗木の採取及び植樹体験を実施しております。今年度1回目は7月20日土曜日に西目屋村鬼川辺国有林180ろ2林小班内に当日の参加者8名とセンター職員5名で実施しました。実施内容は予め当センターが近隣から採取し仮植していたブナ、ホオノキ、イタヤカエデ、トチノキ稚樹20本の掘り取り植



植え付け作業中

え付け作業を実施しました。当日は、気温も高くこまめな水分補給をしながらのハードな作業でしたが植え付け作業終了後、皆さん達成感で満足されておられました。

午後からは、暗門ブナ林散策道を散策して白神山地の森林を実感していただき、第1回自然再生活動を終了しました。当センターでは、秋にも第2回自然再生活動を実施する予定となっております。ぜひとも、また参加をいただき世界自然遺産地域での植え付け作業を体験していただければと思います。また、この活動を通して、たくさんの人とも交流していただければ幸いです。



世界遺産白神山地の看板前で

最後になりますが、当日の朝は、雨が強くてどうなるか心配しましたが、現地に着いたら天気もよくなり作業ができました。皆さんの元気に頑張っている姿が、いまだに、目に焼き付いている今日この頃です。